

## 第4回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和2年9月23日(水) 午後2時より午後3時40分まで

### 協議内容

- ・令和2年度第1回東大阪市認知症初期集中支援チーム検討委員会が開催され、これまでの取り組みと現状について説明があった後、事業の周知方法やオレンジチームと関係機関の連携方法などの意見交換が行われた。
- ・認知症本人交流会は10/3に第6回目を開催予定。チラシの書き方などの意見交換が行われた。
- ・コロナ禍における高齢者支援の難しさやウェブツールの使い方、今後の居場所についてなどの意見交換が行われた。

### 各機関の報告

#### 1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 8/24 地域包括支援センター担当職員研修「弁護士と考える8050問題」参加者からは事例を通して障害と高齢分野それぞれの考え方や違いを理解することができてよかったという意見があった。
- ・地域包括支援センター 9/29 ウェブにて地域包括支援センター担当職員研修を行うが、事前にテストを行うことになっている。
- ・訪問介護事業者部会 毎年11月に介護保険事業者連絡協議会フェスティバルを開催しているが、今年の開催は検討中であるが、開催は難しい。
- ・訪問看護事業者部会 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金が訪問看護分野でも受け付け開始されている。  
新型コロナウイルス感染症の影響で退院カンファレンスが減っており、利用者の情報が得にくくなっている。  
9月末ぐらいから夏の疲れが出てきやすく、体調を崩す高齢者が増えていく傾向がある。
- ・介護支援専門員連絡会 高齢者の新型コロナウイルス感染症に対する意識が徐々に薄くなっているように感じる。ミニクラスターの発生などもあるが、支援者側の意識とのギャップを感じることもある。
- ・布施医師会 8/29 病診連携懇話会 布施医師会及びZOOMにて開催し、参加者38名。開催内容は東大阪医師新聞に掲載予定。  
認知症初期集中支援チーム 布施 125件エントリー/81件終了  
PCR検査集合契約件数は42件
- ・河内医師会 年内の医師会の行事は中止。  
PCR検査は集合契約ではなく、個別契約の形をとっている。またPCR検査を各医療機関で行うかというアンケートを行っている。
- ・枚岡医師会 行政検査としてPCR検査を行っているが、課題が出てきている。  
認知症初期集中支援チーム 枚岡 3件報告を受けている。  
ウェブを使った会議などを模索中。
- ・市立東大阪医療センター 9/15 地域連携研修会「病院と地域の連携でその人らしい生き方を支えるがん患者のアドバンス・ケア・プランニング～当院の緩和ケアチームの症例から学ぶ～」参加者数は院内が27名、院外が6名の計33名。  
11/5 緩和ケア研修会「看取りをむかえる患者家族のケアについて～緩和ケア病棟から伝えたいこと～」
- ・社会福祉協議会 ふくしだより10/1号を発行。当初は5/1号の発行予定もあったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていた。  
「東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい」が新型コロナウイルス感染症の第2波の影響を受け中止となった。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業した方への貸付(緊急小口資金(新型コロナウイルス感染症特例)・総合支援資金)の貸付期間が12月末まで延長になった。

- ・福祉事務所 市内の100歳を迎えられた方に対する表彰は基本郵送対応となっている。  
日常生活用具給付等事業による、ストマ用装具支給の申請が始まっている。
- ・地域包括ケア推進課 楽しくトライ体操推進員の活動が2/21から中止していたが、10月から活動再開する予定。再開にあたり、推進員の方々には感染症の拡大防止などの講座を受けてもらった。  
認知症キャラバンメイト交流会に出席。コロナ禍での認知症サポーター養成講座実施のため、現状はあまり活動できていない報告が多くあったが、オンラインによる実施を提案することで、新たな対象者を開拓する機会になるのではないかという意見があった。  
認知症初期集中支援チーム 枚岡に10月から精神保健福祉士が配置される。